

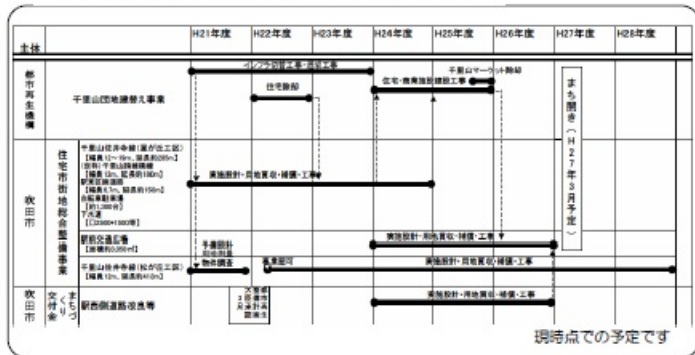


# Machi Com 通信

発行日 平成21年3月18日  
 発行者 吹田市都市整備部都市整備室  
 編集 Machi Com編集委員  
 〒614-0102 吹田市東野  
 吹田市都市整備部都市整備室  
 住所 吹田市東野1丁目3番40号  
 電話 06(6384)1969  
 F A X 06(6368)9901  
 E-mail toseib@city.suita.osaka.jp

<http://www.city.suita.osaka.jp/kakua/toshiseibishutsu/kikaku/Senriyama/index.html>

## 千里山駅周辺整備事業 事業スケジュール(案)



## 『千里山団地区域再生への提案—市民の願い—』 完成

2月 市長に提出



まち懇話人会より阪口市長に提案書を提出(2月3日)

まち懇では、3つ目の提案として『千里山団地区域再生への提案—市民の願い—』を作成し、2月3日(火)に世話人、アドバイザー(合計11人)で阪口市長に提出していただきました。提案書の内容説明とこれまでのまち懇の経過について、市長と意見交換を行いました。千里山団地区域を対象に、どんなまちであつたらよいかを懇談会で話し合い、議論を深めて、市民の視点からまとめたものです。吹田市でもこの提案書を受けて、千里山にふさわしいまちづくりを進めていきたいと考えております。

### これまでのまち懇の進捗について

平成17年7月より「千里山駅周辺まちづくり懇談会」がスタートし、3年半が経過しました。まず、千里山駅前踏切の混雑解消と安心・安全確保という長年の懸念事項の解決方法として、平成18年(2006年)6月、まち懇から「踏切の拡幅」と「踏切を歩行者・自転車専用とし、車は踏切橋を新設し踏替え」の2案を提案していただきました。これを受けて吹田市では、関係機関との協議・検討の結果、踏切を歩行者・自転車専用とし、駅北側で線路と立体交差する新設道路を建設することになりました。次に、まち懇では都市計画道路や駅前広場など千里山駅前空間の整備について話し合い、平成19年(2007年)1月、駅前空間における「千里山らしさ」の提案をしていただきました。その内容は、駅前空間(駅東側)に求められる機能(個人対象からグループ対象機能、また現時点で私たちが求める機能の規模を施設の大さきと比較)、駅前空間配置イメージ図(人の広場、商業施設、交通広場、公共施設、駐輪場、駅北口の施設など)、駅前空間のイメージ提案(広場、道、街路樹、照明、路面、橋、駅舎、踏切、地下道、駐輪場・駐車場、ベンチ、ショップ・公共施設、サイン・看板、屋根と壁など)から成り立っています。

### お知らせ

次回 第29回千里山駅周辺まちづくり  
懇談会 全体会  
 日時 3月27日(金)  
 時間 19:00~21:00  
 場所 メシアター集会所  
 テーマ(予定) これまでの振り返りと今後の懇談会の進め方について  
 まち懇全体会では、いつからでも参加できます。初めての方もどうぞ。  
 これまでの経過については、千里山・住吉寺(ちさと)図書館2階郷土行政資料コーナーにて詳細がご覧いただけます。

### ご意見はこちらまで

このニュース、まち懇へのご意見はこちらまで  
 【あて先】  
 〒564-8550(住所不要)  
 吹田市役所都市整備室  
 (千里山駅周辺まちづくり懇談会事務局)



今回の「千里山団地再生への提案」では、千里山団地のもつ良さを継承し、千里山の高揚を損なわず、緑豊かで静かで、ゆったりとしたあたたかい住宅街や新たな時代の要望に応え、収付市が目指す「安心安全の都市(まち)づくり」、「環境世界都市すいた」を具現するまちを提案します。

「はじめに」より抜粋

## 1. 千里山の良さを継承する大切

千里山団地は千里山の眺望風景であるところの豊かな自然環境を生かして開発された。当時の団地のモデルである。眺望良好、その内部にテレビ塔公園、電柱公園、農具物に動物公園。眺望部分にPOPの眺望塔と取はる公園や広場が設けられ、まさに公園の奥の奥であった。眺望塔に団地の木が植えられ、この団地の景観を再興するに役立っています。

駅前に緑地スペースがないため、中心部近くには公園が整備され、また電柱公園の一部が整備されました。分譲住宅では開放感が乏しく、新しい住宅やマンションが建設されましたが、現在でも多く取りどりの仮設住宅で居住者のみならず団地の住民にも高い負担を、千里山団地の誇りでもありました。

千里山団地の再生には、これらの良さを継承したいものです。

### (1) 優れた環境・景観を継承するまち

- ① 地形を生かして、団地の再生をはかる。
- ② 眺望が大きいので、自然の環境を保護して、周辺地域の景観を回復する。
- ③ ゆったりとした空間を確保することを目標とする。(前1)
- ④ POP(眺望塔)の活用を促進して景観を回復する。
- ⑤ 収付市当局に協賛して景観を回復する。

- ⑥ 団地の活用(活用なし)、団地の活用(活用あり)、POP(眺望塔)の活用(活用なし)など、④の活用(活用なし)を除く。
- ⑦ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑧ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑨ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑩ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑪ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑫ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑬ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑭ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑮ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑯ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑰ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑱ 団地の活用(活用なし)を除く。
- ⑲ 団地の活用(活用あり)を除く。
- ⑳ 団地の活用(活用なし)を除く。

### (2) コミュニティ、ライフスタイルを継承し、安心安全・人と人があふれるまち

- ① 団地の人間性を継承して生活が行われるまちづくりをする。
- ② 緑地帯を確保し、環境を整備する。
- ③ 団地帯を利用している人が継続して利用できるように環境を整備する。

①(1) 団地帯  
②(2) 団地帯  
③(3) 団地帯  
④(4) 団地帯  
⑤(5) 団地帯  
⑥(6) 団地帯  
⑦(7) 団地帯  
⑧(8) 団地帯  
⑨(9) 団地帯  
⑩(10) 団地帯  
⑪(11) 団地帯  
⑫(12) 団地帯  
⑬(13) 団地帯  
⑭(14) 団地帯  
⑮(15) 団地帯  
⑯(16) 団地帯  
⑰(17) 団地帯  
⑱(18) 団地帯  
⑲(19) 団地帯  
⑳(20) 団地帯

## 2. 人を集め、地域の活性化に果たす役割。住み続けたいまち

私たちのまちには人が集まりたい。思いやりあふれるまちを、暮らし続けたいまちを、人々が集まりたいまちにしたい。

人々が集まり、自然・地域文化を育み、人が集まる「環境世界都市すいた」、「安心安全の都市すいた」を目指し、新しい団地を取り入れ、成長するまち、住み続けたいまち、コンパクトなまちを目指します。

### (1) 環境と調和したまち

- ① 入居者先着のまちを。
  - ・ 近隣の自然環境と調和してはる。
- ② 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ③ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ④ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑤ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑥ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑦ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑧ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑨ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑩ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑪ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑫ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑬ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑭ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑮ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑯ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑰ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑱ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑲ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。
- ⑳ 自然環境を生かしたまちを。
  - ・ 自然環境を生かしたまちを。



千里山団地再生モデル住宅NEXT21

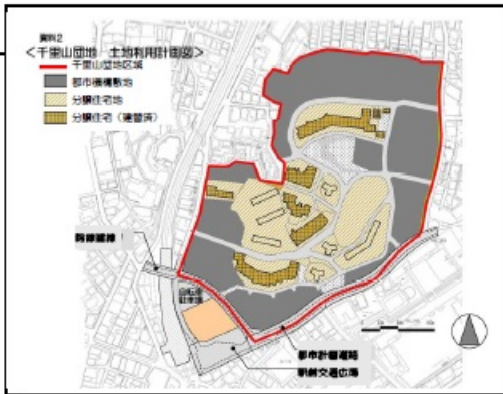
### (2) 人を育くまち

- ① 多様なタイプの住居形態のマンションのあるまち。
  - ・ 若い世代が住める。多世代の住めるまち。
- ② 緑地帯のあるまち。
  - ・ 子育てしやすいまち。
  - ・ 自然環境を生かしたまち。
  - ・ 自然環境を生かしたまち。
  - ・ 自然環境を生かしたまち。

### (3) 大学のあるまち。起業が育くまち。新しいまち

- ① 団地帯には、1階は店舗やカフェとする複合住宅を育てる
- ② POP(眺望塔)の活用を促進して景観を回復する
- ③ 団地帯を利用している人が継続して利用できるように環境を整備する

左 提案書2ページ目 中 提案書3ページ目  
 右上 提案書添付資料2千里山団地 土地利用計画図  
 これらは提案書の一部です。



今までの経過を振り返り、次期の取り組みでは、千里山住民の想いと誇りをひとつに結集してすすめるために、「今後の課題」の「1」今後のまちづくり運営」でも記載しましたが、次のことを提案します。

- ① 積極的に多くの市民に声をかけ掲示板等で広報する工夫をし参加者を増やす。
  - ② 参加した人の多様な意見を聞き、活発な議論ができる開かれた場を作る工夫をする。
  - ③ 千里山の想いを一緒になって考えてくれる高い専門性を有する人をファシリテーター、ディレクターとして増やす。
  - ④ 千里山まちづくり懇談会に出席する市民と市長以下議員は市民自治の基本理念を憲法、共有して、どうすれば住民と行政、企業が情報共有が出来、市民参加が回る、協働が進められるかを学習し、また、他の関係部門との交渉・折衝に強い関心をもってもらいたい。
- 千里山まちづくり懇談会に参加、出席する人は「持続可能な都市」「協働」がこの事業のテーマ、目標であることをはっきりと認識し、千里山の将来に責任をとれることを喜びとする場であることを期待し、最後に収付市議会議長ならびに議員諸君には、千里山まちづくり懇談会の今までの活動と今回の提案の趣旨に対するご理解と一層のご支援を強く願うものです。 「おわりに」より抜粋